平成30年度 北九州観光コンベンション協会 事業報告書

I 公1:見本市・展示会事業

1 主催・共催事業

(1) 西日本地域の経済活性化や産業・貿易の振興に寄与するため、国や地域の行政機関等の施策や方針との連携を図りながら、各種の見本市・展示会等を企画・開催した。主催・共催の事業においては、新たなビジネスの動向やSDGsの紹介、市場とつながるビジネスマッチングの展開などに取り組んだ。

◆当協会が主催・共催した主な見本市・展示会

()内は平成29年度実績

▼コ陽公2 工作 大作した工なんや中 成小公 () 下間 株25 千人				
事業名	開催期日	入場者数	出展社数	
西日本製造技術イノベーション2018	68120 150	17,214人	48社·団体(46)	
第44回ふくおか産業技術振興展	6月13日~15日	(19,352)	21社·団体(23)	
第40回西日本陶磁器フェスタ	9月20日~24日	64,813人 (50,854)	226社(218)	
エコテクノ2018~地球環境ソリューション展~			59社·団体(48)	
エコテクノ2018~エネルギー先端技術展~	108100120	30,455人	85社·団体(73)	
エコ・ベンチャー・メッセ2018	10月10日~12日	(31,066)	21社·団体(29)	
中小企業テクノフェア in 九州2018			70社·団体(67)	
P.P.C.2018 第20回西日本国際福祉機器展	11月15日~17日	20,069人 (22,111)	119社·団体(128)	
合 計	8事業 (9事業)	132,551人 (162,448)	649社·団体(852)	

※平成29年度の合計には、「ワールドマーケット&ツーリズム2017」の実績を含む。



エコテクノ2018

【事業の効果的な推進に向けた主な取り組み】

ア 見本市・展示会の価値創造

北九州市がSDGs未来都市に選定され、持続可能な目標に応じた地域経済活動を導入するため、「加速するビジネストレンドの紹介」「地域に根差した伝統工芸の振興」「新たな社会課題への対応」など産業振興に注力した。さらに、ビジネスマッチング機能や業務の共通化などに取り組み、出展社数や来場者数などの改善につながった。

○「西日本製造技術イノベーション」における取り組み

「ビッグデータ」「AI」の先進事例や、導入に向けたオープンイノベーションの進め方等のセミナーを開催した。また、航空機産業・自動車産業を中心に注目を集める高機能素材「CFRP(炭素繊維強化プラスチック)」を地場に普及・啓発することを目的とする特別企画展では、研究開発が進む「CNF(セルロースナノファイバー)」を新たに展示内容に取り入れた。

〇 「西日本陶磁器フェスタ」における取り組み

40周年記念の特別企画として、「日本の至宝 佐賀の人間国宝展」や若手作家の作品展 「Stay Hungry」を展開。芸術性の高い作品を一堂に展示し、当フェスタの魅力向上に努めた。また、SNSを活用した広報などにより、来場者の大幅増につながった。

イ 成果のあがる展示会の構築(継続的マッチング支援)

主催展示会での販売促進や商談の支援のため、出展社とユーザーとの橋渡しに努め、より大きな成果が得られるように会期前後の活動を強化した。

〇 製造技術マッチングフェア (商談会)

展示会を介した地域中小企業の販路拡大支援として、(公財)福岡県中小企業振興センターの協力を得て「製造技術マッチングフェア(商談会)」を開催した。

〇 中小企業テクノフェア in 九州 2018 ビジネスマッチング事業

産業コーディネータ集団「NPO法人北九州テクノサポート」と連携し、マッチングの件数と質の向上を目指した取り組みを行った。きめ細かなシーズ説明、市場のニーズ調査などにより、出展社アンケートでも高い評価を得た。

(2) 主催・共催事業と並行して関連するセミナー、シンポジウムを開催した。 (100テーマ、参加者数 4, 479人)

2 関係団体との連携事業

(1) 主催事業における産学官連携

主催事業のうち、産業技術分野の展示会では、国、福岡県、北九州市や大学、関係団体、研究機関等と連携し、効果的な事業推進を図った。

(2) 国際化の推進

ア 韓国BEXCO (釜山国際展示場) とのMOU事業

MOUを締結しているBEXCOと、主催事業の相互出展やベトナム環境展における九州企業の販路拡大支援の実施、表敬訪問による交流を行った。また、同展示場からの上海市CHC-EXPO社の紹介により、ECOTECH ASIA(上海市)に出展PRを行った。

イ 展示会の国際化

エコテクノにおいて、BEXCOとの相互出展事業として、「ENTECH釜山」とのブース 交換による韓国企業・団体の出展や、香港貿易発展局の出展による香港の環境関連産業への 投資促進を図る展示を実施した。また、西日本国際福祉機器展において、「KORECA」の PRブースの設置や、韓国釜山市・仁川市から出展があったほか、第20回開催記念特別企 画として「欧州の福祉用具展」を開催し、欧州メーカーの各種福祉用具を展示紹介した。

ウ アジアの関係団体等への展示会出展誘致活動の実施

「ENTECHベトナム」(ホーチミン)、「ENTECH釜山」、「KORECA2018」への 出展により、ホーチミンでは6社、釜山では1社の企業を参加コーディネートし、アジ ア地域での取引拡大を図った。「ENTECHベトナム」では九州環境エネルギー産業推進機 構(K-RIP)と協力し、来場誘致型のビジネスマッチングによる商談に注力した。

(3) 新たな価値創造を目指した見本市運営

新たな展示会の立ち上げについて、地方での連携を模索する展示会主催者との意見交換を行い、当協会の主催展示会でのセミナー開催の誘致につながった。また、装飾施工業務や電気工事業務の発注を一本化する「年間プロポーザル委託制度」の導入による業務の効率化や、ビジネスマッチングの場として、出展企業と来場者を結びつける「課題解決掲示板」を製造技術イノベーション展やエコテクノで導入するなど、効果的な展示会の実施を目指した。

(4) 災害復興支援

平成28年4月の熊本・大分地震災害と、平成29年7月の九州北部豪雨では、展示会に関する様々な団体・企業が被災した中で、復興支援に取り組んだ。

エコテクノでは、被災した福岡・熊本・大分各県の環境・エネルギー関連企業の販路開拓・情報発信の拡大の一助となるべく震災復興支援ブースを設けた。(参加数7社7小間) また、西日本陶磁器フェスタでは、平成29年7月の朝倉豪雨災害で流れた杉を材木にした

また、西日本陶磁器フェスタでは、平成29年7月の朝倉豪雨災害で流れた杉を材木にした おきあがりこぼしを寄付者へプレゼントする朝倉災害復興支援事業「あさくら杉おきあがりこ ぼし展」(主催:同展実行委員会)を展開。広報協力と会場の無料提供により同事業を支援した。

Ⅱ 公1:会議・大会等

1 誘致・支援事業

みを行った。

- (1) 北九州市がグローバルMICE都市に選定されて以来、ローカルホスト及びグローバル MICE推進協議会との連携を強化し、積極的な誘致活動を進めた。日本政府観光局(JNTO) 発表の2017年の国際会議開催件数は全国8位と前年をさらに上回る好成績をおさめた。 また、観光庁のMICEアンバサダーへの北九州市からの推薦・就任決定や、観光庁のビジット・ジャパン地方連携事業への参画による北九州市の魅力の発信など、新たな取り組
- (2) 国際規模をはじめとする学会・大会等の誘致に積極的に取り組んだ結果、平成30年度 の開催状況は、281件となった。

また、これらの誘致活動および開催助成金の効果的な活用の成果として、令和元年度以降に合計167件(平成31年3月31日現在)のコンベンションが予定されている。

なお、観光庁作成の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」によれば、平成30年度の当協会が誘致し開催した案件による経済波及効果(間接2次波及効果、雇用効果を含む)の推計値は108億4,500万円であった。

◆年度別開催件数の推移

(単位:件)

区 分	国際	全国	その他	合計
H30年度	114	80	87	281
H29年度	121	75	86	282
H28年度	90	73	102	265

◆年度別参加者数の推移

(単位:人)

区 分	国際	全国	その他	合計
H30年度	86,372	69,256	40,913	196,541
H29年度	35,147	89,957	89,173	214,277
H28年度	44,580	104,687	53,997	203,264





◆平成30年度開催の主な会議・大会

規模	名 称	開催 時期	会 場	規模 (外国国数、人数)
	The 2018 Global Conference on Polymer and Composite Materials (PCM2018)	H30 年 4 月	北九州国際会議場	708 人
	Fifth International Conference on Electric Power and Energy Conversion Systems (EPECS2018)	H30 年 4 月	北九州国際会議場	180 人
	8th International Conference on Informatics, Electronics&Vision(ICIEV)	H30 年 6 月	北九州国際会議場	500 人
国際	The 8th International Symposium on Ethical Literary Criticism	H30 年 7 月	北九州国際会議場	600 人
	15th International Symposium Functionally Graded Materials (ISFGMs)	H30 年 8 月	北九州国際会議場	500 人
	International Joint Seminar on Surface Functions Grought by nano/ Microstructure	H30 年 11 月	九州工業大学 戸畑キャンパス	(3 ヵ国 500 人)
	AILCD International Conference 2019	H31 年 2 月	北九州学術研究都市	750 人
	2019 IEEE International Conference on Microelectronic Test Structures (ICMTS2019)	H31 年 3 月	北九州国際会議場	308 人
	2018年度日創研経営研究会全国大会	H30 年 5 月	アルモニーサンクソレイユホール 北九州国際会議場	3,600 人
	ロボティクス・メカトロニクス講演会 in Kitakyushu 2018	H30 年 6 月	西日本総合展示場新館 北九州国際会議場	5,000 人
	第12回 日本訪問リハビリテーョン協会学術大会 in 北九州	H30 年 6 月	北九州国際会議場	1,750 人
	第111回日本消化器病学会九州支部例会/ 第105回日本消化器内視鏡学会九州支部例会/ 第73回九州消化器内視鏡技師研究会	H30 年 6 月	西日本総合展示場新館 北九州国際会議場	3,327 人
	下水道展'18 北九州	H30 年 7 月	西日本総合展示場新館 西日本総合展示場本館	31,611 人
全国	第5回日本予防理学療法学会学術大会	H30 年 10 月	北九州国際会議場	2,268 人
	日本私立大学協会 経理部課長相当者研修会	H30 年 10 月	リーガロイヤルホテル小倉	1,200 人
	日本臨床麻酔学会第 38 回大会	H30 年 11 月	北九州国際会議場	7,392 人
	第75回全国老人福祉施設大会(北九州大会)	H30 年 11 月	西日本総合展示場新館	3,600 人
	第7回日本小児診療多職種研究会	H30 年 11 月	北九州国際会議場 AIM3F	1,200 人
	第28回日本MRS年次大会	H30 年 12 月	北九州国際会議場	4,500 人
	第46回全国高等学校選抜卓球大会	H31 年 3 月	北九州立総合体育館	4,000 人

【主な取り組み】

○誘致営業

新規誘致件数(平成30年度中の誘致営業により北九州市での開催が決定した件数)が308件と目標を上回る結果を残すことができた。地元ネットワークを活用した情報収集に加え、そのネットワークから国際・全国レベルのキーパーソンに対してのアプローチの展開、ICCAデータベースを活用した営業展開など、多様な形で誘致活動を行った。

また、新たな取り組みとして、学術分野や産業界において、国内外に対する強い発信力やネットワークを持ち、「日本の顔」となる観光庁のMICEアンバサダーに、産業医科大学医学部第1内科学講座 田中良哉教授を推薦し、就任が決定した。

○スポーツ誘致

第51回全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会-2018プレミアム体操北九州-や、第46回全国高等学校選抜卓球大会等の誘致を行い、55件、延べ参加人員7万7千 人のスポーツイベントを北九州市に誘致することができた。

○グローバルMICEの推進

ICCAのネットワークを活用し、開催候補年やキーパーソンなどの会議情報を活かした 国際会議誘致に取り組むとともに、JNTOとの連携により、「JAPAN MICEセミナー」 (シンガポール)や、国際会議海外キーパーソン招請事業「Meet Japan」(東京)など の商談会に参加し、国際学協会のキーパーソンへの誘致営業を行った。

また、観光庁の「平成30年度ビジット・ジャパン地方連携事業」として、福岡観光コンベンションビューロー等と共同し、4か国・地域(韓国、中国、台湾、シンガポール)の旅行会社を招請した訪日教育旅行・研修旅行ファムトリップを実施した。

○北九州MICE 倶楽部・下関首都圏誘致懇談会 首都圏交流会

北九州市で過去にコンベンションを実施、または今後検討している首都圏の大学教員等の会議主催者との交流会を、一体的な都市圏・経済圏を形成する下関市と共同で開催した。

○アフターコンベンションの強化とユニークベニューの開発 国際会議のエクスカーションでのモノレールの貸切運行 によるランチや、ミクニワールドスタジアム北九州の特別 ラウンジを使用したバンケットなど、北九州の魅力や特徴 を生かしたアフターコンベンション、ユニークベニューに 取り組んだ。



モノレールでのエクスカーション

2 主催・共催事業

国際会議場等を活用し、幅広い年齢層を対象に各種イベントを実施した。

◆イベント・大会等の企画、開催(主催・共催)

※() 内は平成29年度実績

事業名	開催期日	入場者数
小倉まちづくりミーティング泡盛ナイトinこくら	H30年7月24日	166人 (170人)
第25回北九州将棋フェスティバル	H30年9月15日~16日	787人 (実績無)
第18回全国俳句大会in北九州	H31年3月2日~3日	1,507人 (1,510人)

Ⅲ 公1・収1:貸館利用者の誘致・営業強化

1 営業体制の強化

(1) リピーターへの定着化フォロー及び過去利用者への提案営業

中古車・家具の展示会や試験会場等の既存利用者に、次回日程提案等の積極的なフォロー行い定着化を図った。また、過去の展示場の顧客データを分析するとともに、隔年開催や利用頻度が減少等している顧客に対し、定期訪問による施設利用の働きかけや集客支援などの提案営業を実施し、9件の復活開催が実現した。

(2) 新規利用者の開拓

自動車工具や社内技能競技会、大学の入学試験会場など38件の新規展示会等を開催した。

(3) 大規模イベントの誘致と支援

6月に人気スマホゲーム「グラブルサマーフェス」を展示場新館で2日間初開催し、1万人の来場があった。7月には北九州市に本社がある(株)ゼンリンの「ZENRIN ALL STARS FESTIVAL」を展示場新館で開催した。

また、10月には今回で4回目の開催となる「東京ガールズコレクション2018」(TGC KITAKYUSHU 2018)を、11月には今回で5回目の開催となる「北九州ポップカルチャーフェスティバル2018」(KPF2018)が開催され、北九州市の活性化と経済効果を促した。

◆平成30年度 新規及び利用が復活した展示会・見本市等の誘致実績

催事名		催 事 名	
2018年度 新入社員研修	(H30年4月)	パソコン(初級)・介護スタッフ講習	(H30年10月)
菊池道場 春祭り「学級ディベート」を学ぼ	う (H30年4月)	井筒屋の家具と住まいの大祭典	(H30年10月)
BRICKLIVE in JAPAN 2018	(H30年5月)	ひびしんビジネスフェア2018出展社向け事前説明会	
ガジュマルダーツ大会	(H30年5月)		(H30年10月)
にしにほんツールショー2018	(H30年6月)	平成30年度中小企業・小規模事業者等	に対する働き方
介護職員初任者研修	(H30年6·7月)	改革推進支援事業	(H30年11月)
グラブルサマーフェス	(H30年6·7月)	パーフェクト2018 北九州大会	(H30年11月)
ZENRIN ALL STARS FESTIVAL	(H30年7月)	ひびしんビジネスフェア2018	(H30年11月)
どてらい市	(H30年7月)	JAPAN CUP 九州サーキット 2018	(H30年12月)
プラレール博 in KITAKYUSHU	(H30年7月)	九州ウェルデイングフェスタ	(H30年12月)
メガ恐竜展2018 巨大化の謎にせまる	(H30年8·9月)	ランタンファンタジア〜光の国のアリス〜	
技能グランプリ九州予選	(H30年8月)	(H30年1	2月·H31年1月)
マッサージチェア展示即売会	(H30年8月)	ふわふわコロコロわーるど	(H31年1月)
技能グランプリ全国大会・生産財セールス	スマンコンテスト	日教組第68次全国大会	(H31年2月)
	(H30年9月)	日教組第68次全国集会分科会	(H31年2月)
三菱電機 FA/ロボット/ソリューショントラッ	ックキャラバン	明治大学 全学部統一入学試験	(H31年2月)
	(H30年9月)	理系学生のためのマイナビ就職 EXPO 九	
池田屋ランドセル展示会	(H30年9月)	建築・土木系学生のためのマイナビ就職+	ヹミナー福岡会場 (H31年3月)





2 閑散期対策等のイベントコーディネート

(1) ゴールデンウィークおよび夏季閑散期にぎわいイベント

従来、ゴールデンウィークには自主事業を開催してきたが、平成30年度はファミリー向けのにぎわいイベントとして、5月3日~6日にレゴファンイベントの「BRICKLIVE in JAPAN 2018」を展示場新館で初開催し、4日間の会期で約1万人の来場があった。また、夏季のにぎわいイベントとして、7月に「プラレール博 in KITAKYUSHU」をFBS福岡放送と展示場本館で開催(来場者4万人)、8月には九州初上陸となる「メガ 恐竜展2018」を読売新聞西部本社及びTVQ九州放送と展示場本館で初開催した。(来場者 6.6万人)

(2) 冬季閑散期にぎわいイベント

冬季のにぎわいイベントとして、12月に九州初登場となる「ランタンファンタジア〜光の国のアリス〜」を西日本新聞社及びFBS福岡放送と展示場新館で初開催(来場者 約1.5万人)、1月から「ふわふわコロコロわーるど」を展示場新館で同時開催した。



◆平成30年度 閑散期対策イベント等

催事名	会 期	入場者数
BRICKLIVE in JAPAN 2018	H30/5/3~6	9,276名
プラレール博 in KITAKYUSHU	H30/7/14~19	40,047名
メガ恐竜展 2018	H30/8/3~9/2	66,392名
ランタンファンタジア〜光の国のアリス〜	H30/12/22~24,29~30	14,770名
ランダンファンダンア - 元の国のアウベー	H31/1/2~6,12~14	14,7704
ふわふわコロコロわーるど	H31/1/2~6,12~14	9,875名
合 計		140,360名

IV 公1・収1:広報・宣伝、地域連携

1 広報、宣伝

ホームページにおいて、イベントの最新情報や施設の紹介、協会の主催事業やコンベンション誘致に関する情報を提供し、見やすく迅速な情報発信ができるように努めた。

2 地域連携

小倉駅新幹線ロエリアの地域振興団体と共同で、 異業種交流会や地域清掃イベント等を行うなど、 地域の活性化に助力し、にぎわいづくりに取り 組んだ。

さらにJR主要駅に近接しているという施設の 特徴を生かすため、JR九州及びJR西日本との 連携による、効果的な主催事業等のPRを行った。



V 公・収1:管理・運営

1 お客様満足度の向上

(1)サービスの向上

利用者に対して、そのニーズを的確にくみ取り、丁寧な対応すること心掛けた。また、ウェブサイトでの会議室利用料等の概算シミュレーションを可能とする予約サポートシステムの導入を行い、利用者が安心して利用できる環境を整備した。

ミクニワールドスタジアム北九州での試合開催時には、スタジアム来場者が展示場・会議場利用者に影響が及ばないよう、主催者であるギラヴァンツ北九州と事前に会場周辺についての打ち合わせを行い、トラブル防止に努めた。

(2) 職員の資質・能力の向上

サービス品質の向上を目指し、専門講師を招いた情報セキュリティ等の内部研修やQC 活動を実施した。また、「国際会議場施設協議会」「全国展示場連絡協議会」の担当者実務 セミナーを受講等により、職員の資質・能力の向上を図った。

2 利用料金の見直し

人手不足による委託費・修繕費の上昇、消費税改定等に対応するための利用料金改定について検討を行った。

3 管理業務の効率化

照明のLED化による電力使用量の低減や、デマンドの監視、力率の改善、空調動力の時差 運転等による消費電力の削減、メンテナンス等委託業務の内容の見直しなど、管理経費の削 減に努めた。また、国際会議場へのテナント入居促進や、全国規模の賃貸会議室ポータルサ イトへの登録によるPRなど、増収対策に取り組んだ。

4 施設の改修等

施設の老朽化対策や利便性・安全性の向上等のため、施設設備の改修更新等を行った。

*展示場本館:鉄柱塗装改修工事、屋根全面防水改修工事、中展示場照明LED化等

*展示場新館: AIM展示場照明 LED化、UPS バッテリー更新、トイレ改修等

*国際会議場:階段壁面塗装改修、空調インバータ交換、ワイヤレスマイク受信機デジタル化等

5 施設の稼働率等

◆西日本総合展示場本館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
H30年度	64	299	86. 9	24
H29年度	67	285	80. 3	32
H28年度	65	252	78. 5	27

◆西日本総合展示場新館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
H30年度	193	309	86. 6	56
H29年度	179	286	79. 2	69
H28年度	163	299	81. 8	57

◆北九州国際会議場の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
H30年度	539	334	96. 0	8
H29年度	557	325	94. 5	6
H28年度	568	321	92. 2	7

6 指定管理

指定管理期間(平成26年度~30年度)の最終年度であった平成30年度は、指定管理計画に掲げた目標(来場者数(展示場・会議場)77万人、コンベンション誘致件数195件など)を概ね達成(来場者数88万人、コンベンション誘致件数308件など)した。

<参考>平成30年度 北九州市のMICE開催実績

区分	件 数	参加人数	経済波及効果(間接・雇用効果を含む)
会議·大会等	281件	196,541名	10,845百万円
見本市・展示会・イベント	22件	308,005名	11,619百万円
合計	303件	504,546名	22,464百万円

※開催実績の対象は、以下の2つの条件を満たすもの。ただし、展示即売など主に営業目的とするものは除く。

①北九州市MICE誘致推進本部事務局(北九州市産業経済局観光にぎわい部及び当協会)が誘致・開催支援・実施したもの。 ②北九州市地域以上を参加規模とするもの。

※経済波及効果は、観光庁の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」により算定。

VI 公2:観光客の誘致及び滞在化の促進

1 観光客誘客事業・滞在化促進事業

(1) 他都市及び旅行社等を訪れてのPR活動

北九州市及び観光関連企業で「北九州市国内観光客等誘致促進協議会」等を組織し、国内・ 海外において本市の観光資源や新しい観光情報等のPRを行った。

【北九州市国内観光客等誘致促進協議会事業】

九州福岡おみやげマルシェ&観光フェスタ(大阪市・5月26日~27日)での観光PRや、KitaQフェス in TOKYO(東京都・10月20日~21日)での観光PR、北九州市観光キャンペーン in 関西(大阪市など・11月12日~14日)での街頭キャンペーン及び旅行会社へのセールスなどを実施した。



【北九州市国際観光推進協議会事業】

新規インバウンド送客が見込めるタイ及び台湾における誘致助成金事業や、韓国、台湾等の旅行会社へのセールスを実施し、海外からの観光客の誘致を図った。

【北九州産業観光センター実行委員会事業】

市内外のイベントに出展し、産業観光PRを実施した。

- ・ 「官営八幡製鐵所旧本事務所世界遺産登録3周年イベント」 (官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース・7月1日)
- ・ 「北九州マラソン2019」(西日本総合展示場新館・2月16日~17日)
- ・ 「九州の世界遺産応援フェスティバル」(イオンモール大牟田・8月26日)
- 「ツーリズムEXPOジャパン2018」(東京ビッグサイト・9月20日~23日)
- ・ 「周南市工場夜景の日記念イベント」(徳山駅前・2月23日) など

(2) まつり・都市間交流事業

他都市での祭りイベントに出展し、観光PRを行った。

・「第23回知覧ねぷた祭り」(南九州市・7月21日):観光PRと焼うどん等の実演販売

2 修学旅行誘致事業

北九州市及び修学旅行関連企業と連携し、主要都市の旅行会社へのセールス活動を行った。【訪問都市】

第1回:福島市、郡山市、水戸市、つくば市、守谷市、土浦市、宇都宮市 計20社(高校生対象)

第2回: 広島市、新居浜市、今治市、宇和島市、八幡浜市、松山市 計31社 (小学生対象)

第3回: 佐賀市、鳥栖市、佐世保市、島原市、大村市、諫早市、長崎市 計23社(小学生対象)

第4回: 大阪市、神戸市 計7社(中学生対象)

第5回 : 名護市、うるま市、沖縄市、宜野湾市、那覇市 計18社 (中学生対象)

第6回: 中津市、別府市、大分市、日田市 計24社(小学生対象)

3 助成事業

(1) 旅行商品企画及び北九州空港を利用する旅行商品企画への助成 北九州市国内観光客等誘致促進協議会事業として、市内に宿泊および市内の観光施設等に 立ち寄るバスツアーを対象に、バスの台数に応じた補助を実施した。

(2) 伝統的な祭事への助成

11件の祭事に助成を行った。

Ⅲ 公2:観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査

企画広報官伝·情報収集調查事業

機関誌・観光関連書籍の発行やホームページ等の運営により、広報宣伝と観光情報の収集・調査に努めた。

(1)機関誌の発行

季刊情報紙「誘 ing 北九州観光だより」の発行 春号(4月1日)、 夏号(7月1日)、秋号(10月1日)、冬号(1月1日) 各10,000部

- (2) ホームページ等の運営
- ① トップページ アクセス数 47,670件
- ② フェイスブック いいね!件数

8,203件(3月31日現在)

- ③ ぐるリッチ!北Q州 アクセス数 1,332,732件(前年比約21万件の増)
- (3) 観光関連書籍の発行

北九州観光カレンダー 8,500部(11月1日発行)

Ⅲ 公2:観光に関する人材の育成及び啓発

1 百万にこにこホスピタリティ運動

小倉のランチスポットを紹介するランチマップの制作(10,000部)や、SNS等での 各事業者による取り組みの紹介等を実施した。

2 観光案内ボランティアの養成及び派遣

(1) 観光案内ボランティア制度運営

旅行会社等からの依頼による門司港レトロ地区等でのガイド活動や、イベント、祭りに合わせて設置した特設観光案内所でのガイド活動を実施した。また、ガイドのレベル向上のため観光案内ボランティア研修会を開催した。

- ① 旅行会社等からの依頼による門司港レトロ地区をはじめとするガイド活動
 - ・ガイド件数 1,128件(特設観光案内所含む)
- ・ガイド人数 25,156名(特設観光案内所含む)
- 活動者数 1,861名
- ② イベント、祭りにあわせて設置した特設観光案内所でのガイド活動 門司海峡フェスタ(5月3日~4日)、とばた菖蒲まつり(6月9日~10日)、 小倉祇園太鼓(7月21日~22日)、戸畑祇園大山笠(7月28日)、 わっしょい百万夏まつり(8月4日~5日)、門司港駅グランドオープン門司港駅ガイド(3月10日)
- ③ 観光案内ボランティア研修会
 - ・全体研修会(7月・11月)、新人研修会(3月)、世界遺産ボランティアガイド研修(3月)
 - ・「明治日本の産業革命遺産」ガイド研修会への参加
 - ・日本遺産「関門ノスタルジック海峡」案内人育成講座への参加 など
- (2) 北九州観光市民大学

期 間 9月25日~1月23日 計15回

会 場 北九州市立大学 ほか

受講者数 17名(うち、北九州市観光案内ボランティア登録者13名)

区 公2:特産品の紹介・宣伝

特産品パンフレットの作成やホームページでの紹介によるPRを行ったほか、オンライン ショップ及び市内外での大規模イベント会場へ臨時売店設置により特産品を広く販売した。

- (1)特産品パンフレットの作成配布 特産品を紹介するパンフレットを作成、市内各所に設置し観光客等にPRを行った。
- (2) ホームページでの紹介、販売 (オンラインショップ) 等

• 北九州観光市場 発注件数 145件 • 楽天市場 発注件数 666件

・ふるさと北九州市応援寄附金返礼品 受注件数 1,124件

(3) 大規模イベント会場での臨時売店設置

〈市内〉

・第54回全国国公立幼稚園長会役員OB会福岡大会: 5月26日 リーガロイヤルホテル

・にっぽん丸寄港イベント : 6月11日 門司区西海岸 •第25回北九州将棋フェスティバル : 9月16日 北九州国際会議場

•平成30年度九州地区母子寡婦福祉研修大会: 9月22日~23日 戸畑市民会館

・平成30年度ソフトバレーボール 九州ブロック大会

: 10月13日~14日 北九州市立総合体育館

・北九州陸上カーニバル : 10月27日~28日 本城陸上競技場

・第20回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 北九州

: 11月16日~17日 戸畑市民会館

•第75全国老人福祉施設大会 北九州大会: 11月20日 西日本総合展示場新館

·第30回朝日新聞社杯競輪祭G : 11月20日~25日 北九州メディアドーム

・保健活動を考える自主的研究会 : 2月2日~3日 リーガロイヤルホテル

・北九州マラソン2019 : 2月16日~17日 西日本総合展示場新館

・第21回ニュージェネレーションテニスジュニアスカウトキャラバン全国大会

: 2月17日 穴生ドーム

・クイーンメリー ∏ 寄港イベント : 3月1日 ひびきコンテナターミナル

·第18回全国俳句大会 in 北九州 : 3月3日 北九州国際会議場

〈市外〉

世界遺産イベント

8月26日 福岡県大牟田市・イオンモール大牟田

•KitaQフェス in TOKYO

10月20日~21日 東京都・アーツ千代田3331

・お城EXPO2018

12月22日~24日 横浜市・パシフィコ横浜

おいでっちゃ!北九州マルシェ

1月22日~23日 東京都・東京海上日動火災本社

・周南市工場夜景の日記念イベント 2月23日 山口県周南市・徳山駅前



臨時売店(おいでっちゃ! 北九州マルシェ)

X 公2・収2:観光に関する施設の管理運営

1 観光案内所運営業務(公益目的事業)

【北九州市観光案内所運営協議会】

北九州市、JR九州、西鉄バス北九州、北九州エアターミナルと北九 州市観光案内所運営協議会を組織し、官民一体となり市内4箇所の観光 案内所におけるサービス強化を図った。

• 案内件数

北九州市観光情報コーナー 6,897件 小倉駅総合観光案内所 62.778件 門司港駅観光案内所 79,504件 北九州空港総合観光案内所 48,959件



【北九州産業観光センター】

北九州産業観光センター(北九州市、商工会議所、当協会)において、産業観光協力企業 と工場見学等に関する調整を行うとともに、産業観光ツアー及び工場夜景クルーズへのガイ ド・ナビゲーターの派遣等を行った。

• 参加状況

産業観光視察 36件、 836名 工場夜景ツアー(クルーズ、バス) 30件、1.916名 工場夜景定期クルーズ(実施主体:関門汽船㈱) 76件、2,734名

2 土産品・特産品売店の管理運営(収益目的事業)

門司港レトロ地区の主力のお土産センターとして「北九州おみやげ館」を運営。カードに加 えQRコード決済を新たに導入、免税店としての機能を活用し外国人旅行者への特産品PR・販 売を促進した。

また、TOTOミュージアムでは、売店の運営を受託し、産業観光と連携した土産品の紹介・ 販売を行った。

- (1) 土産品、特産品売店の運営
- 北九州おみやげ館
- ・TOTOミュージアムショップ
- (2) 門司港レトロ駐車場の管理運営
- ·利用台数 (乗用車) 66,373台

北九州おみやげ館

3 小倉駅イベント広場等の管理運営(収益目的事業) ーJAM広場、JAMビジョンー

IR小倉駅3階在来線改札口前のIAM広場について、イベ ントや観光展などへの貸し出しを行った。

また、同場所において、大型映像装置「IAMビジョン」 で、市政情報・啓発CMや観光情報、広告CM等の放映を行っ

